

# 芸術文化の功績をたたえて

11月3日(木)、市の芸術文化の振興に功績のあった人をたたえる「鳥取市文化賞」の贈呈式が仁風閣で行われ、次の3人のみなさんが受賞されましたのでご紹介します。



## 受賞理由



**大寺 龍雄**さん

おおでらたつお・76歳  
青谷町青谷  
[文芸]

若くして歌誌「情脈」、「二路」などに所属、作歌生活は50年を越える。鋭く、かつ人間味のある洞察により、人間の生と存在の喜びや哀しみを巧みな技法で表現した。歌集「風の行方」と平成14年刊行の「秋の水」には長年、鳥取の地で短歌をつくる過程で深められた思索の跡が感じられ、なかでも「秋の水」は日本歌人クラブ中国地域優良歌集賞を受賞するなど評価が高い。

また、鳥取県歌人协会会长として、組織の育成に努めるかたわら、「情脈」における後進の指導にも尽力した。

## 受賞者から一言

50年以上コツコツと歌づくりを続けてきた中で、たくさんの方に読んでいただいたことがなにより嬉しいのです。これからも身の回りをしっかりと見つけて歌づくりに取り組み、鳥取の香りを全国のみなさんに届けていきたいと思えます。また、その過程で歌をつくる仲間が1人でも増えれば幸いです。



## 受賞理由



**池澤 眞一**さん

いげわしんいち・67歳  
気高町奥沢見  
[文芸]

学生時代より中断することなく詩作品を発表、日常の身近な事物を独自の視点から観察する中で、社会とのつながりを意識した詩を書く。決して暗鬱にならず、観念臭を排し、わかりやすい言葉で深いものを表現する姿勢は一貫している。

詩誌「菱」や「器」などに参加した後、現在は文芸同人誌「灘」を主宰、長い詩作生活にまとめられた詩集は10を数え、現在、日本現代詩人会会員などとして活動。

また、詩作とともに取り組んでいる「鳥取文芸年表」作成の、地味で根気をともなう業績も評価されているところである。

## 受賞者から一言

無我夢中で詩作りに励んできましたが、その他にも道楽で「鳥取文芸年表」というものを作っています。その地道な作業が評価されたという事に喜んでいきます。これからも年表作りを、ライフワークとして続けていきたいです。



## 受賞理由



**菊池 ひみこ**さん

きくちひみこ・52歳  
末広温泉町  
[音楽]

7歳からピアノを学び、16歳でヤマハエレクトーンコンクール優勝などの実績をもち、22歳のころよりジャズに傾倒した。以来、外国のジャズ・フェスティバルなどにも出演し、数多くのレコード、CDに収録。また鳥取ではライブ活動のほか、ゴスペルグループを結成、主宰している。

平成14年の国民文化祭「夢フェスタとっとり」のイメージ・ソングを制作し、今年10月の「全国生涯学習フェスティバル」開会式における演奏は記憶に新しい。ジャズを通して地域に根ざした活動に取り組み、かつ全国へ発信する姿勢は貴重である。

## 受賞者から一言

今まで、自分の好きなことを一生懸命やってきただけなので、今回このような賞をいただいたことに大変驚いています。これからもできるだけ多くの方々に音楽を通して元気になっていただきたいですし、音楽のもつ素晴らしさを次世代にも伝えていきたいと思えます。

